

平成27年度 卵用奥美濃古地鶏の 譲渡を行いました

関試験地では、年1回、飼養を希望される県内の皆様に、
地域特産鶏「卵用奥美濃古地鶏」の譲渡を行っています(要申込)。

今年度も、春に孵化した育成鶏の譲渡を6月24日に行いました。
当日は梅雨の合間の晴れの日で、県内から多数の方にご来場いただきました。



譲渡の前に、卵用奥美濃古地鶏
の特徴や、飼育管理方法の説明を
研修室で行いました。

研修会終了後、育成鶏舎から運んできた卵用奥美濃古地鶏を、当所の外来者駐車場でお渡ししました。

譲渡鶏は63日齢の育成鶏です。
約3ヶ月後には卵を産み始めます。



卵用奥美濃古地鶏は、淡い茶色のSS
サイズ(45g)の卵を産みます。茶碗1杯
の卵かけご飯にちょうど良いサイズです。
また、卵黄卵重比が高く、通常の市販
卵の1.3倍です(黄身の割合が高い)。

卵用奥美濃古地鶏の育成鶏の譲渡は、年1回実施します。

例年、1～3月頃に譲渡の申込みを受付けています。今年度の譲渡は終了しました

問い合わせは、**畜産研究所 養豚・養鶏研究部 関試験地まで**